郡上市教育委員会

青少年育英奨学資金貸付（一時金貸付）について

今春、高校・大学・専門学校等に入学を予定されている人で、経済的な事情等により入学金等の支払いが困難となっている学生等を対象に、一定の基準により奨学金（一時金）の貸し付けを行います。

対 今春入学予定の学生等

内 ▼**貸付額**…一時金として50万円以内▼**利息と返還**…無利息で、在学中は返還が猶予され、卒業後からの返還となります。▼**貸付決定**…提出された申請書の内容（所得金額等）を審査して決定します。

期 平成28年3月25日（金）

問 教育委員会教育総務課

☎ 67・1123

教育ローン利子補給のご案内

子弟等を大学等に修学させるために、民間金融機関（消費者金融除く）及び日本政策金融公庫から教育ローンを借り受けている人に利子補給を行います。

▼**対象者の要件**…●市内に1年以上住所を有し、居住していること●世帯所得の総額が、生活保護法による保護基準に定められた額の2.5倍未満であること●市税等の滞納がないこと

▼**対象となる教育ローン**…●100万円以上を証書貸付で借り受け、年利1％を超えているもの●限度額300万円まで

▼**利子補給金額**…6万円以内（借り入れ利率で算出した額と2％で算出した額を比較して少ない方の額）

▼**利子補給期間**…在学中の大学等の正規の就学年数の間で、毎年度、申請と審査があります。

期 平成28年4月1日（金）～5月31日（火）

問 教育委員会教育総務課

☎ 67・1123

青少年の健全育成に尽力されました

平成27年度岐阜県青少年健全育成県民大会において、青少年の健全育成に尽力されるなど、その功績が顕著なみなさんが表彰されました。

【岐阜県環境生活部長表彰】

◎優良少年補導委員等表彰

大坪信治（八幡）、八木英明（八幡）、大畑雅子（八幡）、若山栄（八幡）、鷲見光義（八幡）、桑田知明（大和）、青木明美（大和）

【岐阜県青少年育成県民会議会長表彰】

◎青少年指導者等顕彰

遠藤崇史（大和）、奥村毅（大和）、鷲見和夫（大和）

【「家庭の日」図画入賞】

◎小学生の部「入選」

小酒井弦陽（口明方小）
加藤知映（大和北小）
和田美桜（高鷲北小）
※順不同、敬称略

1月は「家庭の日」普及実践強調月間です

岐阜県では、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、心豊かで明るく、自立した青少年をはぐくむ開かれた家庭づくりを奨励しています。この運動を一層推進するため、新しい年の出発にあたる1月を「家庭の日」普及実践強調月間として普及実践を図ります。

（1）望ましい家庭のあり方をみんなで話し合い、その実現に努めましょう。
（2）地域の人々との交流を大切にして、絶えず言葉をかけ合いましょう。
（3）家族そろって地域活動に参加しましょう。
（4）家族との会話を大切にし、わが家の約束づくりに努めましょう。

図書館だより 141回

「日本人は何を捨ててきたのか」

誰もが方向性を見失っている今こそ存在していてほしかった、戦後を代表する思想家・鶴見俊輔さんと、その博覧強記ぶりに恐れおののきながらも三度の対談に臨んだ小説家でノンフィクション作家でもある関川夏央さんを紹介します。

《鶴見俊輔（つるみしゅんすけ）》1922年、東京に生まれる。15歳で渡米、ハーヴァード大学でプラグマティズムを学ぶ。1942年卒業、交換船で帰国。戦後、京都大学、東京工業大学、同志社大学で教鞭を執る。大衆文化研究者でもあった。2015年没。

《関川夏央（せきかわなつお）》1949年、新潟県長岡市に生まれる。上智大学外国語学部中退。2008年から神戸女学院大学客員教授。評論家でもあり、かつては漫画原作者でもあった。

父は政治家で作家、母は満鉄初代総裁で内相などを歴任した後藤新平の娘という家庭に育った鶴見さん。厳格な母に反発し、10歳くらいの年齢から歓楽街に出入りし、小学校はなんとか卒業できたものの、中学校は放校や退学を繰り返し、日本での学歴は小卒だと自嘲します。

一方の関川さん。両親とも高校の教師で、教育熱心であった母から英語を教えられますが必要性を感じず挫折。高校1年の時には、アルバイトで貯めたお金で家出し西宮まで行ってしまいました。

戦後を代表する知性は、座談の名手でもありました。鶴見さんを鶴見先生と畏敬する関川さんは、当初から対談するつもりではなくて、知の巨人にインタビューできるよい機会、そう思って臨んだそうです。

その中で――開国後に誕生した明治国家は、西欧に追いつこうと一生懸命に自覚のないままに日本という「樽の船」をつくった。それはよくできた「樽」で、その中で人びとを養成していった結果、自由な精神を持った個人はいなくなってしまった。さらにその船は「個人」を閉じ込める「檻」になりかわった。その体制は戦争が起きても壊れずに連綿と続いてきた。日本人が「捨ててきたもの」の数々、それらは一体何だったのか――ふたりの会話は縦横無尽に広がっていったのでした。

1月　図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

※わら分室は、日月祝日が休館になります。
※めいほう分室は、土日祝日が休館になります。

地域包括支援センターだより

認知症カフェ「良良（らら）カフェ」を開催しました！

みなさん、認知症という言葉を耳にすることが増えているのではないでしょうか。認知症の人や、認知症の人を介護する家族は、地域で孤立していることがあり、みなさんでお話ができるような「集いの場」を求めています。

昨年11月26日（木）に、そのようなみなさんが気軽に相談でき、集える場として、「良良カフェ」の名称で認知症カフェを開催しました。当日は、会場の白鳥文化ホールに、認知症の家族を介護している人や、介護者と一緒に来られた認知症の人自身、近隣の高齢者施設の入所者、その他、認知症に関心のある人や民生委員のみなさんなど、約50人が参加されました。

◎交流ができました！

介護者からは、「どのように対応しているか、他の人の話が参考になった」などのお話が聞かれました。また、会場では、介護者同士のつながりも生まれ、「定期的な交流の場に発展するといい」との声をお聞きすることもできました。

認知症の人自身も、気難しい人が歌を口ずさむなど、普段とは違った楽しそうな様子が見られました。

▲「良良カフェ」の様子

当日は、認知症サポーター養成講座を受講し、スペシャルサポーターとなった郡上市のマスコットキャラクター「郡上良良ちゃん」も特別ゲストとして参加し、一緒に写真を撮る人もいました。

会場では、高齢者が石臼を使って挽いた豆を使って入れたコーヒーと、介護事業所の利用者のみなさんに作っていただいた入れ物に入れたお菓子が用意され、ミニ花が飾られたテーブルで、賑やかな時間を過ごすことが出来ました。

また、回想法の実施をしている認知症支援ボランティアグループ「ぼちぼちいこ会」のみなさんにも、スタッフとして協力していただきました。

◎これからのカフェについて

「良良カフェ」は、ケアマネジャーや介護施設の職員、病院のケースワーカー、地域包括支援センターの職員などによる運営委員会で行っています。

次回は、2月頃に八幡地域で開催を予定しています。多くのみなさんのご参加をお待ちしています。みなさんにとって参加しやすい会を計画したいと思っていますので、ご意見をお寄せください。

地域包括支援センターは高齢者の総合相談窓口です

電話 67-0008

図書館行事一覧

行事名	日程	時間	館名
新春マンガフェアー	5日（火）～24日（日）		本館
「本の福袋」貸出します	5日（火）～無くなり次第		〃
絵本『森に帰ったクジラ』原画展	5日（火）～24日（日）		〃
お正月おたのしみ会	9日（土）	10：00～	〃
おはなしひろば	毎週（土）	14：00～	〃
郡上かるたパネル展	5日（火）～24日（日）		はちまん
おはなし会	9日（土）	14：00～	〃
おはなし会&かるた会	毎週（土）	10：30～	やまと
おはなし会	16日（土）	10：30～	たかす
おはなし会&工作	23日（土）	10：30～	みなみ
おはなし会	16日（土）	14：00～	わら

＜蔵書点検のお知らせ＞
本の棚おろしのため、下記の期間臨時休館します。
- 本館…26日（火）～29日（金）
- みなみ分室…26日（火）
- めいほう分室…26日（火）